

# 競技上の注意

2025年北海道卓球選手権大会（ジュニアの部）  
審判長 鈴木 秀典

本大会は現行の日本卓球ルールを適用して実施する。

## 1. ルールの概要

- 11ポイント5ゲームマッチで行う。
- ゲーム開始後10分経過した場合は、促進ルールを適用する。但し、双方のポイント合計が18（9-9、10-8）以上に達した場合は、適用されない。
- ゲーム間の休憩時間は、1分以内。
- サービスは、開始から打球までボールをレシーバーから隠してはならない。また、審判員が正規のサービスであることを確信できるよう行うことは、競技者の責任である。
- ポイントが決定した後は、速やかに次のサービスあるいはレシーブの体勢をとり、競技時間の遅延を避けること。

## 2. ボール、ラバー、ラケットについて

- ボールは（公財）日本卓球協会公認の4社（ニッタク、ヴィクタス、ヤサカ、タマス）の白色スリースター40mmプラスチックボールを使用する。
- ラバーは、ラケット本体よりも大きかったり小さかったりしないこと。公認マーク・メーカー商標・ロゴ等は、グリップに最も近い場所にはっきり見えるように貼らなければならない。
- ゲーム中にラケットを破損した場合は、スペアラケットか競技領域内で手渡されたもので直ちにプレーを再開すること。
- ラケットは、JTTAの公認がないものを使用する場合は、予め審判長の許可を受けること。ラバーは、現在JTTAまたはITTFが公認しているものでなければならない。
- ゲーム間の休憩時間中、タイムアウト中及び中断されている間は、ラケットをテーブルの上に置くこと。
- 公認の接着剤、シート以外の使用は認められない。試合終了後のラケット検査において不正が判明した場合はその試合は負けとなり、試合前の検査で判明した場合は別のラケットで試合すること。

## 3. 競技の服装

- ゼッケンは、2025年度（公財）日本卓球協会指定のものを使用すること。
- 競技服装は、JTTA公認ワッペンが付いたものであること。競技用シャツ（襟・袖を除く）、ショーツ、スカートの主たる色は使用するボールの色と明らかに違う色でなければならない。
- 同色系の服装による対戦を避けるため、必ず色の異なった2種類以上のシャツを用意すること。場合によっては青と紫、黒と紺も同色とみなす場合がある。
- ヘアバンド・リストバンド・スパッツは着用できるが、（公財）日本卓球協会指定業者以外のマークが見えることは認められない。
- 肘、膝より長いアンダーウエアは着用できない。但し容認するに足る事由がある者は予め審判長に申し出て判断を仰ぐこと。

4. アドバイスは、ゲームとゲームの間の休息時間、あるいは認められた競技の中止時間にのみ受けることができる。また、競技中のアドバイザーの交代は認めていないので注意すること。

5. 準々決勝より前は敗者審判とする。ただし、準々決勝からは公認審判員を配置する。

勝った選手が本部へスコアシートを持っていき、次の試合のスコアシートを受取り、負けた選手へ渡すこと。負けた選手はその場で待機し、審判の準備をすること。

6. 準々決勝からはタイムアウト制が適用となる。（代表決定戦も同様）

「タイムアウト」の要求は、ゲーム中のラリーとラリーの間にのみでき、その際に手で「T」を示す。タイムアウトの要求は監督より選手が優先される。

7. ランダムにラケットコントロール検査を行う場合がある。